

2011年4月7日

東北地方太平洋沖地震緊急災害対策本部 本部長
内閣総理大臣 菅直人 様

新日本婦人の会会長 高田公子

復興計画づくりは被災地の意見を最大限反映できる人選でオープンにおこない、 ジェンダー視点を反映できる女性のメンバーを入れてください

未曾有の大震災・津波被害、原発事故に対する連日のご奮闘、本当にお疲れ様です。
菅首相は、東日本大震災の復興ビジョンを練る「復興構想会議」を準備していると伝えられています。

今回の復興計画は、日本でかつて経験したことのない規模と内容となるだけに、だれよりも被災者住民の意見をよく聞き、被災者の生活復興と地域復興を第一にすることが求められます。少数者による構想のトップダウン方式であってはなりません。

同時に、かつて災害・復興対策が「男性の仕事」であった時代から、阪神大震災や新潟中越大地震での経験も通じて、女性や生活者の視点での対策や復興の重要性に目がむけられるようになってきました。政府は、昨年12月17日に決定した第3次男女共同参画基本計画で、「地域、防災・環境その他の分野における男女共同参画の推進」の章をおこして、その重要性を強調しました。「計画」では、高齢化や過疎化の進行などの変化がすすむ地域やコミュニティは男女が共に担わないと立ち行かなくなっていると指摘し、防災会議への女性の参加、地域における政策・方針決定過程への男女共同参画の必要性を述べています。その計画づくりに不可欠となっている女性の視点、ジェンダーの視点をふさわしく位置づけてくださるよう、お願いします。

- 1、復興計画づくりは、被災者住民の意見が反映され、被災者の生活復興と地域復興が中心となるよう、その検討過程もふさわしい人選でオープンにすすめるようにしてください。会議も、被災自治体にでかけて行って全自治体の長や住民の意見を聞く場をもうけるなど、被災地が納得できる形ですすめてください。
- 1、復興計画の政策・方針決定過程に女性が人数的にもふさわしく参加し、ジェンダーの視点がきちんととりいれられるようにしてください。